

「堺環境戦略の策定」にあたって

近年、気候変動の影響と考えられる異常気象や災害が各地で頻発し、多くの被害が発生しています。2018年9月の台風第21号は、堺市でも記録的な暴風や豪雨等をもたらし、市民1人の尊い命を含む大きな被害が生じました。

気候変動だけでなく、海洋プラスチックごみの問題、生物多様性の損失など、様々な環境問題が相互に作用することで複雑になり、深刻化の一途を辿っています。

私たち人類の生存基盤である地球環境は、まさに非常事態と言える危機に瀕しています。

現代に生きる私たちには、持続的に発展し続ける都市を、この地球を、将来世代へとつなげる責務があります。深刻化する環境問題に立ち向かい、新たな社会を切り拓くため、具体的な行動を起こすことは急務であり、もはや一刻の猶予もありません。

そこでこの度、「全ての人々が幸せに暮らす、持続可能な環境イノベーション都市」をテーマに、2050年の環境のあるべき将来像やその実現に向けたロードマップをまとめた『堺環境戦略』を策定しました。

本戦略は、堺市の環境行政における重要な一步を踏み出すものです。

堺市は、複数の製油所や火力発電所、都市ガス製造工場、液体水素製造工場が集積するなど、関西圏に対するエネルギー供給の拠点であり、多量の温室効果ガスを排出する都市です。その堺市が脱炭素都市を実現することは、大きな意義があると考えます。

様々な革新的イノベーションを結集した都市全体でのカーボンニュートラル実現や、環境と経済との好循環、自然や緑による魅力的なライフスタイルの創出をめざします。そして、環境先進都市として海外との都市間協力を進め、世界の環境に貢献します。

「世界をリードする環境先進都市の実現」という壮大な目標に向かって、環境・エネルギー産業の集積等のポテンシャルを活かし、全国のモデルとなる先導的な取組に挑戦し続けます。

気候変動を含めた環境問題を克服する道のりは、決して平坦なものではありません。化石燃料への依存や大量生産・消費型の社会・経済システムを根本的に変革する新たな技術開発に加えて、ルールや制度の構築、ビジネスモデルの転換も欠かせません。そして何より、個人の価値観や行動の変容が強く求められます。

行政だけでなく、市民、企業、大学等研究機関、団体等、堺市に関わる全ての皆様が重要なプレーヤーです。互いの知恵と力を結集し、共にこの危機に立ち向かう行動を進めましょう。



2021年(令和3年)3月

堺市長 永藤英機

CONTENTS

- 01 市長メッセージ
- 02 2050年の環境将来ビジョン
- 04 エリアごとの将来イメージ
- 06 戦略の背景・趣旨
- 08 戦略の基本的事項
- 10 戦略実現に向けたロードマップ
- 14 分野ごとの施策の基本的な方向性
- 16 戦略の実現に向けて
- 17 用語解説